

事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

黄色セルに必要事項を記入するとともに、水色セルはドロップダウンリストから該当するものを選択してください。

都道府県名	20_長野県
市区町村名	20210駒ヶ根市
自治体区分	市町村(組合を含む。)

市町村名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度 における取組の評価・分析を踏まえた 取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
20210駒ヶ 根市	①学校運営上 の課題	05 その他	市内のすべての小中学校へ学校運営協議会を設置し、毎年委員の委嘱を行っているため組織としては存在しているが、会議の実施が無い学校がある。また、学校によって会議の実施や地域学校協働活動の取組の差が大きい。活動の規模が小さい・頻度が少ない学校においては、協働活動を地域とどのようにすすめていけばよいのか分からず、加えてボランティアが必要となる放課後学習支援も、ボランティアが確保できないため、実施できていない現状である。コーディネーターの配置についても、教頭などの担当する教職員が兼務しているところが多く、当事業によってかえって負担を増やしてしまっている現状にある。	市内各学校のCS担当者およびコーディネーターが、当事業について情報共有ができる機会を設ける。市内でも学校によって取組の差が大きいため、積極的な地域学校協働活動が実現できている学校を例として、ほかの学校においても発展的な取組をすすめられるようにする。また各学校が抱えている課題は、地域規模で共通していることも多いため、課題解決に向け有効な意見交換が行える場とする。	令和6年度の目標であったボランティアの確保にあたって、事業の周知やボランティア募集の方法を検討する際に、そのベースとなる地域と学校の協働がそもそも不足しているように見受けられる学校があった。そのためボランティア募集の呼びかけがほとんど行えず、必要な人数のボランティアを確保できない学校も多かった。こうした令和6年度の状況から、ボランティア確保のためにも、地域と学校のつながりをより強くする必要性を感じたため、左記の取組を実施することで、課題の解決に努めたい。	地域学校協働活動の重要性を理解したうえで、学校運営協議会を定期開催できるようにし、学校運営について、地域と協議できる機会を確保する。学校と地域間の関係性が深まり、当事業の周知が広がることによって、ボランティア確保をはじめとした地域や保護者からの積極的な働きかけにも期待できる。市内各学校での取組状況の差を可能な限り埋めるようにし、市全体で一体的に当事業をすすめていくことができる。	学校支援ボランティア登録数	329	人	340		